

日本建築学会 環境工学委員会建築設備運営委員会 2011 年度第 2 回 議事録

- A. 日時 2011 年 5 月 26 日 (木) 17:00～19:00  
B. 場所 建築学会 (307 会議室)  
C. 出席 主査：羽山広文、幹事：(柳井崇)、郡公子、委員：(赤司泰義)、(秋元孝之)、石川幸雄、石野久彌、(猪岡達夫)、宇田川光弘、(岡建雄)、(川瀬貴晴)、古賀誉章、(小林陽一)、坂上恭助、(佐野武仁)、(清水昭浩)、(高井啓明)、高草智、千葉隆文、仲野章生、(中野淳太)、(二宮秀興)、(野部達夫)、(本間睦朗)、(吉田治典)  
(())付きは欠席、敬称略・順不同)

D. 配付資料

- 資料 No.2-1 2011 年度第 2 回建築設備運営委員会議事次第  
資料 No.2-2 2011 年度第 1 回建築設備運営委員会議事録案  
資料 No.2-3 大震災調査復興支援に関わる常置研究委員会の活動について  
資料 No.2-4-1 環境設備に関する学会規準 (AIJES) における性能レベル検討小委員会議事録 (第 1 回)  
資料 No.2-4-2 環境選択型空調設計小委員会議事録 (5/9)  
資料 No.2-4-4 次世代排水システム小委員会第 13 回議事録(案)  
資料 No. 2-4-5 2011 年度第 1 回環境建築設計法小委員会議事録案  
資料 No.2-5 第 7 回建築設備シンポジウム

E. 議事：

1. 前回議事録が確認され、出席者を一部訂正の上承認された (資料 No.1-2)。
2. 環境工学本委員会の報告 (羽山主査)
  - 1) 東日本大震災調査復興支援
    - ・ 復興調査の支援、調査 WG の公募などが行われている。
    - ・ 震災の影響で大会に投稿できなかった会員に対して救済措置がとられる。
    - ・ 震災対応・提言のための委員会活動について調査された。
    - ・ 6/30 に環境工学シンポジウム「東日本大震災に対して環境工学ができることー被災状況と夏の電力需給逼迫への対応」が建築会館で開催される。
  - 2) 大会
    - ・ 震災についての総合研究協議会が開催される。
    - ・ 学会賞受賞者講演は、足永靖信氏 (国交省)、石川孝重教授 (日本女子大) である。
    - ・ 環境工学懇親会が、8/24 に六本木ヒルズクラブで開催される。
  - 3) 出版物
    - ・ 「建築環境工学用教材 設備編」などの学会新刊図書について報告された。
  - 4) 委員委嘱
    - ・ 非会員に委員を委嘱する場合は理由書が必要で、余人をもって代え難い理由を書く。非会員の委員が含まれる小委員会は、場合によっては理由書を修正する。
  - 5) 予算配分
    - ・ 各小委員会に、昨年と同じ 9 万円が配分される。設備に配分される残りが、設備運営委員会の予算になる。
  - 6) 環境工学研究者名簿
    - ・ 各小委員会の推薦により、民間企業の研究者を名簿に加えることができる。
3. 大震災調査復興支援に関わる常置研究委員会の活動について (羽山主査、資料 No.2-3)
  - ・ 設備運営委員会の活動として、建築設備士協会など 4 団体と連携して建築設備被災状況調査を

行う計画を本委員会に報告した。今後さらに委員の意見を聞き、内容を検討する。

#### 4. 小委員会の活動報告

- 1)環境設備に関する学会規準（AIJES）における性能レベル検討小委（石川主査、資料 No.2-4-1）
  - ・ 5/9 開催の小委員会では、設備シンポジウムの講演候補の検討、性能基準の検討を行った。
- 2)環境選択型空調設計小委（代理説明：羽山主査、資料 No.2-4-2）
  - ・ シンポジウム「環境設備デザインの再興と SAIKO（最古・再考・Psycho、最高）」（12/6）を計画している。
- 3)気象データ小委（代理説明：羽山主査）
  - ・ 委員会開催がなかったため報告事項はない。
- 4)次世代排水システム小委（坂上主査、資料 No.2-4-4）
  - ・ 5/19 開催の小委員会では、基準作りに向けての各 WG の活動報告がされ、規格化の今後の進め方、設備シンポのテーマについて審議した。
- 5)環境建築設計法小委（羽山主査、資料 No.2-4-5）
  - ・ 4/27 開催の小委員会では、話題提供 2 題と設備シンポジウムに関する審議が行われた。
- 6)前年度「建築一体化設備のデザイン」出版小委（石野主査）
  - ・ 「見る・使う・学ぶ 環境建築」が昨日出版された。シンポジウムを開催する予定である。

#### 5. 2011 年度第 7 回建築設備シンポジウムについて（資料 No.2-5）

- 1)第 1 部、第 2 部の内容の進展について説明された（郡幹事）
  - ・ 「第 1 部 話題の環境建築」は、5 件の講演でほぼ確定した。「題 2 部 震災に学ぶ建築設備」は、5 件の講演候補が追加された。
- 2)内容構成について審議され、以下の方針が決まった。
  - ・ 講演は 20 分/人（発表 15 分、質疑 5 分程度）とする。
  - ・ プログラム構成を決めた。主旨説明（羽山主査、10:00-10:10）の後、第 1 部の講演（司会：柳井幹事、10:10-11:50）を、①大林技研、②栃木県庁、③立川市庁舎、④飯野ビル、⑤ソニーW 計画の順に行い、その後討論（進行：石野委員、11:50-12:20）を行う。第 2 部の講演（司会：郡幹事、13:20-15:00 に 5 題、15:00-15:10 休憩、15:10-16:30 に 4 題）を、①BCP 面での対応、②信頼性工学の視点から、③夏の暑さをどう乗り切ったか、④光環境面での対応、⑤震災と拡張アメダスデータ、⑥不足を補完する自家発電装置の実力、⑦建築における太陽エネルギー利用と省電力化、⑧ビルマルチの省電力制御、⑨通信用建物の復旧対策の順に行い、その後討論（進行：宇田川委員、16:30-17:00）を行う。最後にまとめ（羽山主査）で締めくくる。
  - ・ 第 2 部①の講演を清水建設に、④の講演を東海大岩田先生に依頼することとし、他は当初の案通りに依頼する。講演依頼は、第 1 部の①、④、⑤について石野委員、②、③について羽山主査、第 2 部の①、④、⑤、⑥について石野委員、②、③、⑧、⑨について羽山主査、⑦について石川委員にご担当頂く。
  - ・ 講演時間管理にベルを使用する。
  - ・ 第 2 部のテーマ名「震災に学ぶ建築設備」は、今後再考する。
  - ・ 6 月中旬頃までに内容を決定し、6 月末に会告用原稿を提出し、9 月会告に載せる。

#### 6. 次回予定 2011 年 7 月 20 日(水) 16:00～ 於：建築会館

(文責：郡)